

のせ通信

株式会社 能勢建築構造研究所



宇和米博物館

愛媛県西予市に所在する宇和米博物館。地元では、「米博」の愛称で呼ばれている。建物は昭和3年（1928年）に建造された旧宇和町小学校校舎を移築し、平成3年（1991年）に開館した。約80種類の稲の実物標本や宇和地方で使われていた農耕具など、米に関する資料を展示している。また、平成11年（1999年）から始まった「ぞうきんがけレース」により10.9m木造廊下の長さを実体感できる。

（宇和米博物館 HP より引用）

第14号の見どころ

- ✚ 新年度は熱い記事からスタートです
- ✚ 今月も楽しい連載記事♪
- ✚ 『見てます？映画』
- ✚ アンケート企画第二弾始動!!
- ✚ 裏表紙も見どころ満載！
- ✚ ヨコトーク♪

表紙：撮影日：2018年02月，写真：○○○○

のせ通信

二〇一八年春 第十四号

目次

- 東京の中心でプロレス愛を叫ぶ
- 柳川雛祭りさげもんめぐり
- ラブリータウン生駒
- 古い着物の再利用
- ブルース・リーズ ジークンドー
- そらのしごと
- またも月々雑記
- 酒と郎りと釣り（その3）
- のせ通信の知りたい放題♪
- 【朝のニュース何派？】
- 【どうして建築の道を志しましたか？】
- のせギャラリー【戌年 犬ちゃん大集合！】
今年の干支、イヌを自由に描きました♪
- 見えます？映画。
- 前号の感想

ラプリータウン生駒

私が生駒市に引越して来たのが、中学二年生の春。それまでは生駒山の向こう側、東大阪市の石切に住んでいました。関西ではご存じの方も多いと思いますが、石切には石切神社や、少し行けば枚岡神社があり、お祭りとなると地元のお兄さんが、御神輿を担いでこの時とばかりに「ワッショイ、ワッショイ」と大声を出して、大活躍されていたのを思い出します。



そこから一転。トンネルを抜けるとこんなにも景色が変わるの！?と思うくらい生駒市は静かな町でした。初めはあまりの落ち着きぶりに戸惑っておりましたが、それから早ウン十年。もうすっかり生駒の町が大好きです。

ここからは、生駒市について簡単ではありますが、ご紹介したいと思います。

生駒市は奈良県北西部に位置し、大阪市のベッドタウンとして知られています。人口は、平成30年2月1日現在で12万5600人です。

茶筌の町としても有名で、特に高山茶筌は全国シェアの90%以上を占めています。娘が小学生の頃、授業参観の帰りにたまたま立ち寄った生駒市役所でお茶席が設けられていて、御抹茶と金平糖を頂いた事があります。

他にも竹編み針等竹製品の生産が有名で、竹のように強い子に育つようにと願って作られた「たけまるくん」が生駒市のイメージキャラクターとして、日々活躍中です。

また、私も例外ではなく、生駒市民（奈良県民）のほとんどの方が、大阪府や京都府へ通勤しているため、県外就業率が全国でもトップクラスの高さです。



『生駒市HPより』

故に「奈良府民」と呼ばれています。そんな「奈良府民」の私がほっとする場所。それは生駒山です。子供のころから生駒山を見て育っているので、もうなくてはならない存在です。

その生駒山への交通手段として「生駒ケーブル」があります。生駒山上遊園地に行った事がある方は、このケーブルカーを利用された方も多いのではないかと思います。「生駒ケーブル」は日本で最初の営業用ケーブルカーですが、庶民の足としても活躍しています。山の上の方に住んでいる小学生は、登校時はひたすら坂道を下って学校まで行き、下校時はケーブルカーを利用して通学しています。

そして、生駒山上までの中間駅にあるのが、宝山寺（ほうざんじ）です。

商売の神様として親しまれ、「生駒聖天（いこまじょうてん）」とも呼ばれています。我が家では、毎年初詣は宝山寺へ参っています。徒歩で15分ほどの近さなのですが、ひたすら坂を登る、登る、登る、そして途中からはほぼ階段しかないキツイルートとなっています。ただ、坂を登った先にある神社は、山に囲まれ、とても荘厳な感じがして気分が落ち着きます。この写真は本堂ですが、さらに上に文殊堂があり、さらに上には奥の院本堂があります。奥の院本堂まで行くと、夏にお参りに来ても空気が澄んでいるので、あまり暑さを感じる事はありません。



この階段からの眺め、風情が
あって良いですね！
後ろを振り向くと生駒市内が
一望出来ます。



生駒山上までの中間駅「宝山寺駅」までは、ブル号とミケ号が走っています。

秋のお彼岸には「生駒聖王お彼岸万灯会（まんとつえ）」があります。ご先祖の供養と家庭の安全を祈願する法要です。

近鉄生駒駅から宝山寺までの参道沿いには、たくさんのおーソクや燈籠の明りが灯され、なんとも言えない情緒たつぷりな雰囲気になります。燈籠の一つ一つに有志の方が描かれています。燈籠の一つ一つに有志の方が



万灯会では、燈籠が参道を照らしています。

また、生駒駅周辺には、近くの幼稚園・保育園児たちが絵を描いた灯籠が置かれていて、見るだけでほっこりした気分になります。毎年我が家の近くで、こんなに素敵なお彼岸を過ごせるのは、幸せな事です。

さて、話はガラッと変わりますが、皆さんはイコマ製菓本舗の「レインボーラムネ」をご存じでしょうか？このラムネ、知る人ぞ知るラムネなのです。

外はカリッと中はすーっと口の中で溶けてしまっ、とても美味しいラムネなのです。美味しさも然ることながら、このラムネ、なかなか手に入らない事で有名です。

インターネットの販売はもちろんしておらず、官製八ガキで応募して、当選された方のみが手に入れる事が出来るのです。メディアにも取り上げられた事で、競争倍率が上がってしまったようです。何年か前から、生駒市のふるさと納税の返礼品に「幻のレインボーラムネ」を加えたら、納税額が増えたとか！ただ、数量に限りがあるため、こちらも早い者勝ちの様です。気になる方は、生駒市のホームページにて入荷の案内が出ていますので、チェックしてみてくださいね。



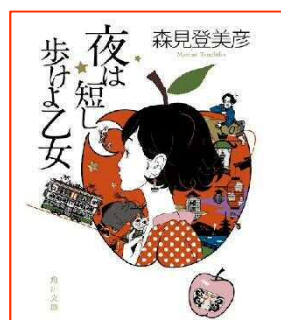
イコマ製菓本舗HPより

最後になりましたが、生駒市出身の有名人っているのかな？と調べて見ると、小説家の森見登美彦さんがいらっしゃいました。実は、私もつい最近知ったばかりでして…。

ペンネームが本名の姓「森見」に「生駒神話」の主人公「登美長髓彦」を合わせたものらしいです。生駒に神話があつたなんて初耳です。

さて、この森見さんの作品「夜は短し歩けよ乙女」が、少し前に生駒市の広報で紹介されていたのと、ネットで「おすすめ小説」と検索すると、結構な割合で薦められており、気になって早速読んでみました。

この作品は、黒髪の乙女に恋をした大学のクラブの先輩が、外堀を埋めまくって恋を成就させようと頑張る恋愛小説です。



がしかし、よくある恋愛小説とは違い、ファンタジックかつコメディタッチで、登場人物も風変わりて面白く、黒髪の乙女と部活の先輩の二人の視点で話が進むので、とても楽しく読めました。

そしてタイムリーな事に、今年の日本アカデミー賞で「夜は短し歩けよ乙女」が最優秀アニメーション作品賞を受賞していました！

声優は、今をときめく星野源さんが担当されています。さらに、森見さんの作品「ペンギン・ハイウェイ」が、今年の8月にアニメーション映画として公開される様です。なんとこちらの作品は、森見さんが育った「生駒市北部」が舞台とのこと！早速、小説を読んでみようと思います。

今回、のせ通信を書いて思ったことは、こんなに長く生駒市に住んでいるのに、あまりにも知らない事が多いこと。特に「生駒神話」が…。

平日は自宅と会社の往復で、休日もほとんど引きこもりの生活を送っていますが、これを機に生駒の良いところを探してみたいと思いました。

アンケート企画！！集計発表～♪

Q.どうして建築の道を志しましたか

No.1

意匠設計から… (13人)

- ◆ 意匠設計に向いてなかった、意匠よりは成績が良かった、意匠よりとっつきやすそう など… (11人)
- ◆ 意匠を目指すうちに、構造が分からないとデザインが出来ないと思ったから … (1人)
- ◆ とあるデベロッパーの社長に意匠設計を目指すなら若いうちは構造をしなさいと助言された … (1人)

No.2

親類や環境の影響 (11人)

- ◆ 祖父や父などの家族が建築関係の仕事をしていた … (5人)
- ◆ 家が工務店や設計事務所をしている … (3人)
- ◆ 実家の設計をしてくれた人に憧れて … (1人)
- ◆ 実家の増築の時に少し手伝いをさせてもらった … (1人)
- ◆ 自宅にドラフターがあり幼い頃から興味があった … (1人)

etc...

他にも沢山のご回答が♪

- ◆ 間取り図を見たり、描いたりするのが好き
- ◆ 物作りが好き
- ◆ 建築の仕事に憧れていた、建築の骨とも言える所の計画が学生の頃から好きだった など
- ◆ 恩師が勧めてくれた、大学の授業を受けて向いていると思った、ゼミの先生が憧れの存在だった など
- ◆ 天職
- ◆ カッコいい・きれいな建物・大阪万博のパピリオンを見て
- ◆ 建築に関係のあるテレビドラマを見て、漫画・小説を読んで
- ◆ 別職(数学の教師・リハビリの医師など)になりたかったが建築の道へ
- ◆ 前職のキャリア形成に限界を感じ、モノを造るならスケールを大きくしようと思った
- ◆ なんとなく違う方向に行ってみたくなって
- ◆ 未経験だったが縁があって
- ◆ 面接で説明を聞いて、格好いいー！と思った
- ◆ 三匹の子ぶたみたいで楽しそうだったから

ドラフター格好いいですね！

1970年 大阪万博
スイス館の光の本
ウイリー・ワルターの作品



きっかけになった漫画で拳がっていた著/星里もちる「りびんぐゲーム」他にも、テレビドラマ「結婚できない男」の桑野(阿部寛)、「協奏曲」の滝老沢(田村正和)、著/小松左京の小説「日本沈没」などが拳がっていました！忝になる!!



今回も、たくさんの犬ちゃんたちが大集合しました～

